第六号書式（第五条関係）

鋼造船所施設状況報告書

所在地

造船所　　名　称

（　　年12月31日現在）

敷地総面積（工場構内）			㎡			
船台	船台番号					
	製造し得る船	最大長（垂線間）　（m）				
		最大幅（型）　（m）				
		総トン数　（T）				
	平均潮高時における陸上耐圧部の長さ（m）					
	平均潮高時における水中耐圧部の長さ（m）					
	盤木部において最大重量を支え得る船台面の幅（m）					
	進水の際における最大「フォアフート」耐圧力（t／㎡）					
	傾斜					
	せきとびらの有無					
	備考					
ドック（建造ドックを含	ドック番号・種類					
	入きよし得る船	最大長（垂線間）　（m）				
		最大幅（型）　（m）				
		総トン数　（T）				
	浮揚させうる重量（浮ドックの場合）（t）					
	ドックの長さ	きよ底平坦部　（m）				
		きよ底の頭端より最外戸まで（m）				
		上部の頭端より最外戸まで（m）				
	ドックの幅	きよ口	上部において（m）			
			下部において（m）			
			平均潮高線において（m）			
		きよ内	上部において（m）			
			下部において（m）			

む。）	ドックの深さ	中央よりきよ口底の	上端まで（m）				
			平均潮高線まで（m）				
		きよ底中央より上端まで（m）					
	排水ポンプが一時間に排水しうる平均水量（t）						
	備考						

引揚船台（船架を含む。）	引揚船台番号					
	引揚げ得る船舶	最大長（垂線間）（m）				
		最大幅（型）（m）				
		最大重量（t）				
		総トン数（T）				
	平均潮高時における陸上耐圧部又は軌条の長さ（m）					
	平均潮高時における水中耐圧部又は軌条の長さ（m）					
	傾斜					
	引揚機の力量					
	備考					

	番号	設置場所	面積（㎡）	使用し得るクレーンの台数及びつり揚能力	備考
船殻ブロック組立定盤及びこれに準ずるもの					

	場所		種類	数	最大つり揚力量（t）	最大つり揚高さ（m）	最大つり出距離（m）	移動距離（m）	備考
重量物運搬設備	船台、引揚船台及び建造ドック関係								
	屋外ブロック組立場関係								
	屋内作業場関係								
	鋼材置場関係								
	修繕ドック関係								
	その他								

備　考

1．本報告書の対象工場は、総トン数500トン以上又は長さ50メートル以上の鋼製の船舶の製造設備を有する造船工場である。

2．船台、ドック及び引揚船台欄の平均潮高とは、水路業務法施行令（平成13年政令第433号）第１条の表備考第１号にいう平均水面をいう。

3．本報告書には、工場全体配置図を添付すること。